



## 平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月16日

上場取引所 東

上場会社名 アスкул株式会社

コード番号 2678 URL <http://ir.askul.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 彰一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理執行役員 (氏名) 宮澤 典友 TEL 03-3522-8608

四半期報告書提出予定日 平成22年12月28日 配当支払開始予定日 平成23年1月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年5月21日～平成22年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	95,380	2.0	2,267	△37.2	2,225	△37.2	385	△75.5
22年5月期第2四半期	93,500	△2.5	3,609	0.2	3,542	△3.7	1,572	△19.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	12.41	12.40
22年5月期第2四半期	50.69	50.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	77,784	18,957	23.7	594.13
22年5月期	72,241	19,326	26.3	611.85

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 18,441百万円 22年5月期 18,988百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	—	—	30.00	30.00
23年5月期	—	15.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年5月21日～平成23年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	5.8	8,000	14.0	8,000	15.7	3,000	△13.9	96.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年5月期2Q 38,189,400株 22年5月期 38,189,400株

② 期末自己株式数 23年5月期2Q 7,150,291株 22年5月期 7,154,891株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年5月期2Q 31,037,712株 22年5月期2Q 31,019,254株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	9
販売費及び一般管理費の明細（連結） .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年5月21日～平成22年11月20日）におけるわが国経済は、企業収益が回復基調を維持しているものの、円高進行や株安などの不安要因は払拭されておらず、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。オフィス用品の通販業におきましては、中小企業の収益環境は改善しており需要が回復していることから、堅調に推移いたしました。

このような状況のなか当第2四半期は、次世代ビジネスモデルにおける圧倒的な商材の拡大に向け、平成22年11月に株式会社アルファパーチェスの株式を取得し、新たに連結子会社といたしました。なお、当第2四半期連結累計期間については、貸借対照表のみ結合し、損益計算書は連結対象に含めておりません。

売上高は、今夏の猛暑により飲料等の売上が伸張したことや、Web専用商材の拡充によりオフィス家具が堅調に推移したことなどから、増収となりました。しかしながら、新型インフルエンザ対策等として取扱っているマスク等の衛生商品について、在庫の評価損を計上したことなどから、売上総利益は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は953億80百万円（前年同期比2.0%増）、売上総利益は215億21百万円（前年同期比3.0%減）となりました。販売費及び一般管理費は、主にソフトウェア償却費等の業務統合システム関連費用の増加により192億53百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は22億67百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益は22億25百万円（前年同期比37.2%減）となりました。また「資産除去債務に関する会計基準」適用にかかる特別損失8億8百万円を計上したことなどから、四半期純利益は3億85百万円（前年同期比75.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は777億84百万円となり、前連結会計年度末と比べ55億43百万円増加いたしました。主な要因は、当第2四半期連結会計期間末よりアルファパーチェス社が連結子会社となり、27億61百万円増加したことです。

負債は588億27百万円となり、前連結会計年度末と比べ59億12百万円増加いたしました。主な増加要因は、当第2四半期連結会計期間末が金融機関休業日のための「ファクタリング未払金」増加31億93百万円、アルファパーチェス社が連結子会社となったための増加25億12百万円、「資産除去債務」の計上による増加13億8百万円であり、また返済により「長期借入金」が30億98百万円減少したことによります。

純資産は189億57百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億69百万円減少いたしました。主に四半期純利益3億85百万円の増加に対し、配当金の支払により9億31百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は23.7%（前連結会計年度末は26.3%）となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は165億39百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、81億31百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が14億16百万円、固定資産の減価償却費およびソフトウェア償却費18億6百万円、仕入債務の増加13億99百万円、ファクタリング未払金の増加31億93百万円、「資産除去債務に関する会計基準」適用にかかる特別損失8億8百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加16億55百万円、法人税等の納付10億68百万円等の減少要因があったこと等によります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、18億46百万円となりました。主な要因はソフトウェアの取得による支出9億37百万円、アルファパーチェス社の株式取得に伴う支出5億37百万円です。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、41億48百万円となりました。主な要因は、借入金の返済30億96百万円、配当金の支払9億31百万円です。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成22年12月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ① たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 法人税等の算定方法

法人税、住民税及び事業税等の算定については、納付税額の算出にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する等一部簡便的な方法によっております。

##### ④ 繰延税金資産の算定方法

一部の連結子会社について、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

##### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ39百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は847百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,331百万円であります。

##### ② 企業結合に関する会計基準等の適用

当第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

#### 2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,539	14,421
受取手形及び売掛金	23,663	20,287
商品及び製品	7,574	8,516
原材料及び貯蔵品	125	109
その他	4,038	4,066
貸倒引当金	△91	△94
流動資産合計	51,849	47,307
固定資産		
有形固定資産	4,499	4,153
無形固定資産		
ソフトウェア	8,883	9,055
ソフトウェア仮勘定	242	376
のれん	5,004	4,406
その他	35	37
無形固定資産合計	14,166	13,875
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,854	3,722
その他	3,699	3,457
貸倒引当金	△285	△274
投資その他の資産合計	7,268	6,905
固定資産合計	25,934	24,933
資産合計	77,784	72,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,971	21,721
短期借入金	773	422
1年内返済予定の長期借入金	2,642	2,640
未払金	3,239	2,907
ファクタリング未払金	16,236	13,043
未払法人税等	1,297	1,138
引当金	481	495
その他	539	290
流動負債合計	50,182	42,659
固定負債		
長期借入金	5,881	8,980
退職給付引当金	1,122	1,019
引当金	4	27
資産除去債務	1,331	—
その他	306	227
固定負債合計	8,645	10,255
負債合計	58,827	52,915

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,535	3,535
資本剰余金	6,015	6,015
利益剰余金	21,055	21,609
自己株式	△12,104	△12,112
株主資本合計	18,502	19,048
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△61	△59
評価・換算差額等合計	△61	△59
新株予約権	463	337
少数株主持分	52	—
純資産合計	18,957	19,326
負債純資産合計	77,784	72,241

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月21日 至平成21年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年11月20日)
売上高	93,500	95,380
売上原価	71,306	73,859
売上総利益	22,194	21,521
販売費及び一般管理費	18,584	19,253
営業利益	3,609	2,267
営業外収益		
受取利息	23	19
その他	9	19
営業外収益合計	32	38
営業外費用		
支払利息	77	42
支払手数料	10	6
為替差損	—	22
その他	12	9
営業外費用合計	100	81
経常利益	3,542	2,225
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	16
役員賞与引当金戻入額	—	6
その他	—	0
特別利益合計	—	22
特別損失		
減損損失	397	—
固定資産除却損	5	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	808
その他	2	19
特別損失合計	405	831
税金等調整前四半期純利益	3,136	1,416
法人税、住民税及び事業税	1,560	1,255
法人税等調整額	3	△223
法人税等合計	1,563	1,031
少数株主損益調整前四半期純利益	—	385
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,572	385



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成21年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月21日 至 平成22年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,136	1,416
減価償却費	307	329
ソフトウェア償却費	1,006	1,476
長期前払費用償却額	37	101
減損損失	397	—
のれん償却額	260	261
株式報酬費用	43	125
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	102
引当金の増減額(△は減少)	25	△37
受取利息及び受取配当金	△23	△19
支払利息	77	42
固定資産除却損	4	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	808
売上債権の増減額(△は増加)	4,701	△1,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	△640	985
未収入金の増減額(△は増加)	△899	△90
仕入債務の増減額(△は減少)	2,127	1,399
未払金の増減額(△は減少)	306	275
ファクタリング未払金の増減額(△は減少)	43	3,193
未払消費税等の増減額(△は減少)	△310	434
その他	48	87
小計	10,748	9,242
利息及び配当金の受取額	23	19
利息の支払額	△93	△61
法人税等の支払額	△2,005	△1,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,673	8,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186	△157
ソフトウェアの取得による支出	△1,790	△937
長期前払費用の取得による支出	△148	△180
差入保証金の差入による支出	△5	△63
差入保証金の回収による収入	1	30
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△537
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,128	△1,846

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成21年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月21日 至 平成22年11月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	132	—
短期借入金の返済による支出	△66	△113
長期借入金の返済による支出	△4,120	△3,096
リース債務の返済による支出	△3	△7
自己株式の処分による収入	70	0
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△929	△931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,916	△4,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△41	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,587	2,117
現金及び現金同等物の期首残高	11,191	14,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,778	16,539

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

自己株式消却の決議について

当社は、平成22年12月8日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式7,000,000株を平成22年12月27日を予定日として消却することを決議いたしました。

#### 4. 補足情報

販売費及び一般管理費の明細（連結）

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年5月21日 至平成21年11月20日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年5月21日 至平成22年11月20日)			(参考) 前期 平成22年5月期 (自平成21年5月21日 至平成22年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費	2,922	3.1	3,774	4.0%	129.2%	6,250	3.3
配送運賃	2,815	3.0	3,192	3.3%	113.4%	5,812	3.1
販売促進引当金繰入額	255	0.3	231	0.2%	90.3%	451	0.2
業務外注費	1,655	1.8	1,859	1.9%	112.3%	3,484	1.8
業務委託費	3,920	4.2	3,398	3.6%	86.7%	7,556	4.0
地代家賃	2,404	2.6	2,270	2.4%	94.4%	4,670	2.5
貸倒引当金繰入額	53	0.1	49	0.1%	92.6%	145	0.1
減価償却費	307	0.3	328	0.3%	106.9%	623	0.3
ソフトウェア償却費	1,006	1.1	1,476	1.5%	146.7%	2,357	1.2
その他諸経費	3,242	3.5	2,672	2.9%	82.4%	6,016	3.2
合計	18,584	19.9	19,253	20.2%	103.6%	37,369	19.8